

令和6年度 北九州市サステナビリティボンド (SDGs未来債) インパクトレポート・ハンドブック



SDGs未来都市としての 北九州市の取組



SDGsの達成に向けて ～日本で一番住みよい街へ～

- 2018年4月に、OECDよりアジア地域では初めて「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定され、同年6月には国より「SDGs未来都市」に選定されるなど、国内外で高い評価をいただいています

～「SDGs」とは～

- 2015年9月の国連サミットで、すべての加盟国（193カ国）が採択した国際目標
- 発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む
- 2030年までの目標であり、17の目標（ゴール）の達成を目指している



～北九州市と「SDGs」～

- 本市は以下のとおり、国内外で高い評価をいただいています

2017年12月

- 第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞

2018年4月

- 280団体以上が応募し、12団体が受賞(自治体は本市と下川町のみ)
- OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定
- アジア地域で初めて選定

2018年6月

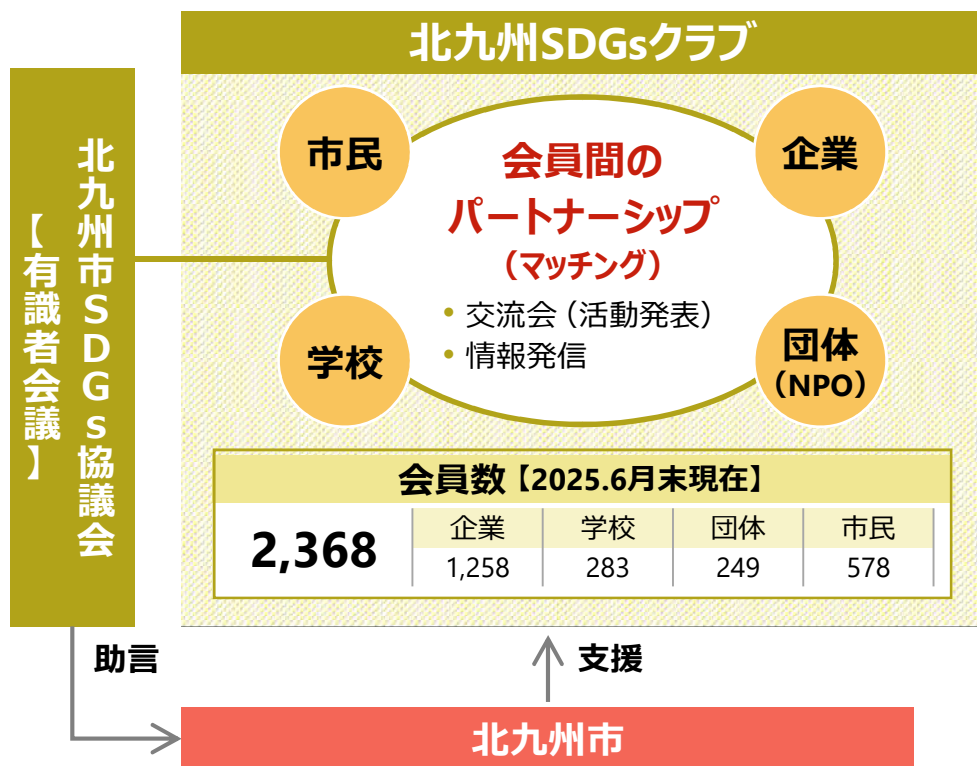
- 国より「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定
- 29都市選定(うちモデル事業10都市)

2018年8月

- 国の「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の会長に北九州市長が就任

オール北九州でのSDGs達成に向けた取組

- 2018年11月、産官学民、様々なステークホルダーの連携・交流プラットフォームとして「北九州SDGsクラブ」を創設。
北九州SDGsクラブでは、地域課題の解決に向けた民間主体のプロジェクトチームが発足し、会員同士が連携してSDGsの達成に向けた取組を推進しています



「プロジェクトチーム」

地域課題の解決のため、共通の課題を持ったクラブ会員が主体的にプロジェクトを立ち上げ、会員同士が連携してSDGsの達成に向けた取組を行う。

地域の課題解決のための具体的なプロジェクトの実行



▶ **イノベーション加速** ・取組みの「具体化」 ・SDGsの「見える化」

<発足したプロジェクト>

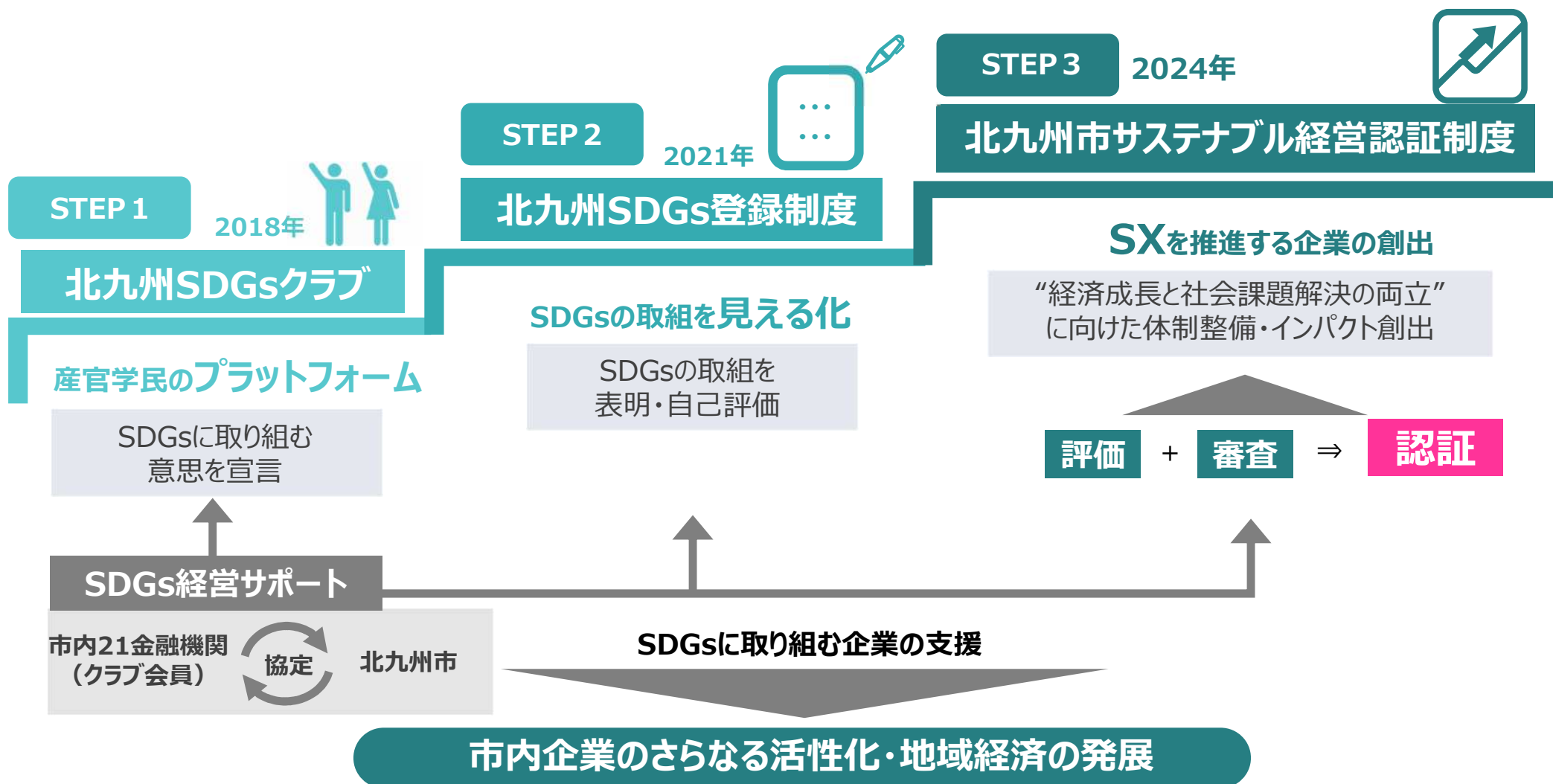
2019年度：4件（防災、高大接続など）
2020年度：2件（まち美化、紙の循環と障がい者の雇用促進）
2021年度：1件（住宅端材のアップサイクルと障がいのある人の雇用促進）
2023年度：1件（産官学民が連携した環境教育の実施）



2021年の春に開催し、ポストコロナ時代の新しい生き方のビジョンを発信した「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」のレガシーを引き継ぎながら、SDGsの実現を目指すという本市のメッセージを視覚化するため、北九州SDGsマークを制作しました

サステナブル経営による企業の競争力UP

- 2018年11月、市民約900人が参加し「北九州市SDGs未来都市」キックオフイベントを開催。その中で、北九州市SDGsクラブを創設しました。2020年1月には、北九州SDGsクラブ会員である金融機関と、「SDGsの達成」という共通の目標のもと、地元企業のSDGsの取組を支援するため、協定を締結しました
- 2021年8月には、企業のSDGsの取組を「見える化」するため「北九州SDGs登録制度」を創設しました
- 2024年7月、企業の本業による「利益追求」と「社会課題解決」の同時実現を目指す「北九州市サステナブル経営認証制度」を創設しました

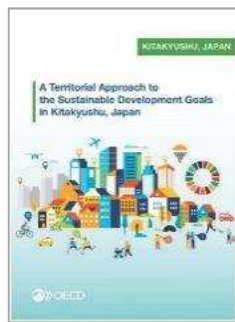


「OECD SDGs北九州レポート」が完成

アジア地域初！「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」【北九州市】

- 本市は、2018年4月に、世界38カ国が加盟する国際機関OECDより、「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」として、アジア地域で初めて選定されました
- その後、約2年にわたる、OECDの独自の分析・調査を経て、「OECD SDGs北九州レポート」が完成しています

OECD SDGs北九州 レポート



(英語版) 表紙



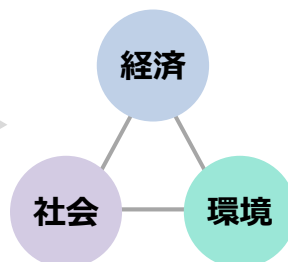
(日本語版) 表紙

OECD（経済協力開発機構）：世界最大のシンクタンク
OECDが、世界9つのモデル都市の1つに本市を選定し、アジア唯一の「SDGsレポート」として、世界に発信！

OECDより評価された3つの優良事例

- 国際協力！
- 子ども食堂！
- 洋上風力発電！

SDGsを活用した
相乗効果を創出！



Kitakyushu
SDGs

「世界のSDGsモデル都市」に選定
(2018.4 OECDとの共同記者会見)
国連会合でアジア唯一の首長発表！
(2018.7 ニューヨーク国連本部)

**“国内外”へ向けて
北九州市の
SDGsを発信！**



期待される効果

ESG投資の呼び込み

SDGsの認知度向上

環境と経済の好循環

SDGs未来基金・サステナビリティボンド

- 2021年4月、SDGsの達成に資する事業を積極的に推進するための安定的な財源として、新たな基金を創設しました
- 2021年10月、SDGs達成に向けた取組を推進するための資金調達の一環として、自治体初となる「サステナビリティボンド」、愛称「北九州市SDGs未来債」を発行しました

SDGs未来基金

2021年4月創設

SDGsの達成に資する事業を積極的に推進するための安定的な財源として新たな基金を創設



北九州市 SDGs未来債

自治体初

SDGs達成に向けた取組を推進するための資金調達の一環として、自治体初となるサステナビリティボンドを発行

募集した資金は、SDGs関連プロジェクトに活用

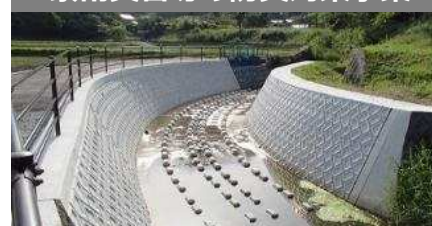
洋上風力発電関連事業



新科学館の整備



豪雨災害等の防災対策事業



特別支援学校の整備



“市の持続可能な未来” に繋がっていきます

北九州市令和 6 年度 サステナビリティボンド (愛称：北九州市SDGs未来債) の概要



北九州市令和6年度サステナビリティボンド 発行概要（機関投資家向け）

- 令和6年度は、北九州市サステナビリティボンド（北九州市SDGs未来債）として、8月に機関投資家向けに79億円を発行しました

令和6年度 機関投資家向け

項目	発行概要
銘柄名称	第4回北九州市サステナビリティボンド10年公募公債 （北九州SDGs未来債）
年限	10年（償還日 令和16(2034)年8月23日：満期一括償還）
発行額	79億円
利率	0.933%
発行時期	8月23日（金曜日）
主幹事会社	- 大和証券株式会社（事務） - 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 - みずほ証券株式会社
購入対象先	機関投資家

北九州市令和6年度サステナビリティボンド 発行概要（個人投資家向け）

- 令和6年度は、北九州市サステナビリティボンド（北九州市SDGs未来債）として、10月に個人投資家向けに10億円を発行しました

令和6年度 個人投資家向け

項目	発行概要
銘柄名称	第4回北九州市サステナビリティボンド5年公募公債 （個人向け）（北九州市SDGs未来債）
年限	5年（償還日 令和11(2029)年10月29日：満期一括償還）
発行額	10億円
利率	0.576%（税引き前）
発行時期	10月29日（火曜日）
募集期間	10月8日（火曜日）～ 23日（水曜日）
購入限度額	お一人様1,000万円まで（1万円から1万円単位）
購入対象先	(1) 北九州市内にお住まいか、お勤めの個人 (2) 北九州市内に事業所のある法人・団体 (3) 北九州市を応援する個人・法人等

北九州市令和6年度サステナビリティボンド 投資家一覧

- 機関投資家向けサステナビリティボンドでは、24件の投資家の皆様より発行意義に共感いただき、投資表明を実施いただきました
- 個人投資家向けでは、市内・市外双方の283人・団体の皆様に購入いただきました

令和6年度 機関投資家向け債 投資表明投資家一覧

- | | | |
|-----------------|-------------------------|-------------------|
| ● 朝来市 | ● 岐阜県 | ● 竹岸産業株式会社 |
| ● いちい信用金庫 | ● 公益財団法人 北九州観光コンベンション協会 | ● 地方独立行政法人 芦屋中央病院 |
| ● 学校法人 香川学園 | ● 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター | ● 千代田計装株式会社 |
| ● 株式会社 西日本シティ銀行 | ● 公益財団法人 ニビキ育英会 | ● 独立行政法人 環境再生保全機構 |
| ● 株式会社 福岡銀行 | ● 社会福祉法人 こまつ会 | ● ひびき灘開発株式会社 |
| ● 株式会社 みずほ銀行 | ● 社会福祉法人 春陽会 | ● ひろしま農業協同組合 |
| ● 株式会社 山口銀行 | ● 社会福祉法人 若杉会池田つぼみほいくえん | ● 福岡県市町村職員共済組合 |
| ● 北九州農業協同組合 | ● セゾン株式会社 | ● 福岡ひびき信用金庫 |

(五十音順)

令和6年度 個人向け債の投資家

- **購入者**：283人・団体（うち市外在住の本市を応援する個人・法人等：52人・団体）
- **市外購入者の例**：過去に北九州市内に在住・勤務していた個人
 - 親族が北九州市内に在住する個人
 - 仕事で北九州市内を来訪する個人

**令和6年度
北九州市SDGs未来債
サステナビリティbond・フレームワーク
にもとづく
レポーティング**

令和6年度 サステナビリティボンドの管理・運営・透明性評価について

プロジェクトの評価 及び選定のプロセス

- 資金使途は本市のSDGs達成に向けた取組を推進するものに充当します。個別事業は、必要に応じて公共事業評価や環境アセスメントなど専門性のある審査を経て北九州市議会が審議・議決し、予算として計上したもので、この中から財政・変革局財政課及び関係部署で協議して選定、財政局長が最終決定しています。

調達資金の管理

- 調達資金は調達した年度中に対象事業に全額充当します。調達資金は財政・変革局財政課が起債管理システムにおいて、調達した資金毎に、充当した事業を常時追跡・管理するほか、内部監査を通じて残高を確認します。
- 充当されるまでの間は現金または現金同等物にて管理します。充当計画に大きな変更が生じる等の重要な事象が生じた場合は、年次での開示に限らず適時に開示します。

レポート

- 資金充当が完了するまでの間、資金充当状況および環境改善効果・社会的成果に関する情報を本市のウェブサイトにて開示します。調達資金の充当計画に大きな変更が生じた場合や、充当後に充当状況に大きな変化が生じた場合は、速やかに開示します。

令和6年度 資金の充当状況・環境改善効果に係るレポーティング ～ グリーンプロジェクト ～

- 再生可能エネルギーなど脱炭素社会の実現に向けた対応等、以下の環境改善効果を有する事業に充当しました

プロジェクト分類	対象事業	充当金額（百万円）		効果/実施事業内容
		機関投資家分	個人分	
再生可能エネルギー	■ 響灘地区の充実した港湾インフラと広大な産業用地を活用した、風力発電関連産業の総合拠点の形成	1,045.8	53.9	■ 洋上風力発電に係る基地港湾整備：4.6ha ■ 響灘東地区SEP船等基地化：0.3ha ■ 響灘地区総合拠点利用ファーム数：2件（R6年度時点） ■ 北九州港を母港とするSEP船の数：2隻（R6年度時点）
気候変動への適応	■ 河川整備	1,089	61	■ 橋梁架け替え：3箇所（割子川、相割川等） ■ 護岸改修：合計619m（江川、宿ノ内川等） ■ 掘削 1,311m³（板櫃川） ■ 浚渫 7,090m³ ■ 水門、井堰などの改築：3施設 ■ 整備により減少する被害戸数：（一例）紫川13,000戸（R24年度完了後の予定数）
	■ 上下水道整備 ※持続可能な水資源・廃水管理にも該当	133	-	■ 豪雨対策の拡充・強化（浸水対策工事）：2件、141.94m
	■ 港湾整備	714.2	11.5	■ 胸壁整備：102m、舗装工：103m²、陸間整備：1基 ■ 整備地区：新門司北地区、整備件数：1件
	■ 道路整備	36.7	53.6	■ 学校の法面改修工事：530m ² （港が丘小学校、柄杓田小学校）
汚染の防止及び抑制	■ ごみ処理施設等の整備	1,751.8	229.9	■ 新日明工場の整備 ■ R7年度リサイクル率30%以上、R7年度CO2排出量60千トン以下を見込む（R6年度時点 26.3%、95千トン（概算値））
生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	■ 地域固有の生態系の保全と自然環境に配慮したまちづくり（公園整備等）	625.7	35.8	■ 緑化面積：合計17m²、公園整備面積：合計15,548m² ■ 市内の緑に親しむ公的空間の確保量（一人当たりの都市公園面積）：13.29（m²/人）
グリーンビルディング	■ 環境性能の高い市有施設の新築・改築	466.2	17	■ 松ヶ江北市民センター：Nearly ZEBを取得、9.7t-CO2/年削減見込み ■ 門司港地域複合公共施設：ZEB Readyを取得、237.3t-CO2/年削減見込み
エネルギー効率	■ 公共施設のエネルギー消費量の削減（市保有施設の照明のLED化や老朽化施設やエネルギー多消費施設における省エネ機器の採用等）	50.2	-	■ LED化した照明灯数：99個 ■ エネルギー削減量：395.1MWh ■ 温室効果ガス削減量：158.8t-CO2/年削減見込み
合計	金額	5,912.6	462.7	
	比率	74.8%	46.3%	

令和6年度 資金の充当状況・社会的成果に係るレポーティング ～ ソーシャルプロジェクト ～

- 誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境整備等、以下の社会課題の解決に資する事業に充当しました

プロジェクト分類	対象事業	充当金額（百万円）		効果/実施事業内容		
		機関投資家分	個人分	アウトプット	アウトカム	（参考）インパクト
必要不可欠なサービスへのアクセス	■ 特別支援学校整備	222.7	12.1	■ 小倉北特別支援学校整備（移転建替）	■ 利用者数合計：198人 （児童生徒数、R7.5.1時点）	誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境を整備
	■ 総合療育センター整備	-	15.8	■ 総合療育センターにて多項目自動血球分析装置などの医療機器8台を更新	■ 多項目自動血球分析装置 使用件数 450件（R7年1～3月）	
	■ 保育所等整備	33	28	■ 老朽改修に伴う施設整備：2箇所 ■ 児童館老朽化対策大規模改修工事：3箇所 ■ 児童養護施設の施設整備：1箇所	■ 保育園等 定員数合計190人 ■ 児童養護施設 定員数合計37人	
	■ 小中学校等整備	981.5	201.3	■ グラウンド改修：小学校1校 ■ 大規模改修：小学校4校、中学校1校 ■ 学校トイレ整備：小学校10校 ■ 不足教室対策 小学校4校、中学校2校 ■ 外壁改修：小学校4校 等	■ 小学校：336人/1校 ■ 中学校：346人/1校 （市内の生徒数/学校数で算出 R7. 5. 1時点）	
	■ 青少年育成・学習施設等整備	18	13.3	■ 八幡図書館 （空調設備改修工事） ■ もじ少年自然の家 （受変電設備更新工事） ■ 玄海青年の家 （高圧受変電設備改修工事）	■ 八幡図書館： 利用者数133,978人（R6年度） ■ もじ少年自然の家： 利用者数17,184人（R6年度） ■ 玄海青年の家： 利用者数21,870人（R6年度）	
手ごろな価格の基本的 インフラ設備	■ 避難場所、消防施設等の整備・改修 ※ 必要不可欠なサービスへのアクセスにも該当	732.2	266.8	■ 体育館（予定避難所）の整備 ■ 救急車の整備：6件 ■ 消防施設の長寿命化：10件 ■ 消防団施設整備：1件	■ 想定受入人数 小倉北体育館：406人 小倉南体育館：397人 的場池体育館：453人	防災機能の強化によるレジリエンスな社会
合計	金額	1,987.4	537.3			
	割合	25.2%	53.7%			

令和6年度 サステナビリティボンドの資金使途について①

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
再生可能エネルギー	■ 響灘地区の充実した港湾インフラと広大な産業用地を活用した、風力発電関連産業の総合拠点の形成	■ 温室効果ガスの排出削減

風力発電関連産業の総合拠点化

響灘地区 基地港湾



完成イメージ①



完成イメージ②



本市の強み ～西日本で唯一の基地港湾～

- 本市は、若松区響灘地区のポテンシャルを活かし、風力発電関連産業の「総合拠点」の形成に向けた取組を平成23年度から進めています。
- この取組により、響灘洋上ウインドファームで年間約22万kWの電力を生み出すとともに、産業や物流、経済の活性化や雇用の創出も目指しています。
- R6年度は、以下の整備事業等を実施しました。
 - ① 洋上風力発電施設の設置に必要な基地港湾の整備を実施
 - ② 響灘東地区に入港するSEP船（※）が岸壁を適切に利用できるよう、海底面の調査を行い、必要な整備を実施 ※SEP船：自己昇降式作業台船
- 引き続き、他都市に先駆けて風力発電関連産業の総合拠点化に取り組むことにより、再生可能エネルギーの活用による温室効果ガスの排出削減に貢献してまいります。

整備面積（洋上風力発電に係る基地港湾整備） 4.6ha（全体4.6ha）

整備面積（響灘東地区SEP船等基地化事業） 0.3ha（全体1.2ha）

響灘地区総合拠点利用ファーム数 2件（R6年度時点）

北九州港を母港とするSEP船の数 2隻（R6年度時点）

令和6年度 サステナビリティボンドの資金使途について②

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
気候変動への適応	■ 河川整備 ■ 上下水道整備 ※持続可能な水資源・廃水管理にも該当	■ 水災害など発生時の浸水、土砂被害の緩和 ■ 水災害など発生時における安全・安定的な水道インフラの供給

河川整備

橋梁架け替え上部（相割川）



橋梁架け替え下部（割子川）



- 浸水被害の軽減、災害が発生した際の市民の命・生活・財産を守るため、河川整備を進めました。
- 河川整備では、橋梁架け替え、護岸改修、掘削、浚渫などを行いました。

橋梁架け替え	3か所（割子川、相割川など）
護岸改修	619m（江川、宿ノ内川など）
掘削	1,311㎡（板櫃川）
浚渫	7,090m
水門、井堰などの改築	3施設

上下水道整備

浸水対策整備工事（田原五丁目）



- 豪雨による浸水被害を減らし、雨に強い安全なまちづくりを進めるため、上下水道整備を進めました。
- 「北九州市上下水道事業基本計画」及び「北九州市上下水道事業中期経営計画」に基づいて、浸水対策工事を行いました。

整備件数	2件（田原五丁目、曾根新田）
整備距離	141.94m

令和6年度 サステナビリティボンドの資金使途について③

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
気候変動への適応	■ 港湾整備 ■ 道路整備	■ 水災害など発生時の浸水、土砂被害の緩和

港湾整備

新門司北地区（俯瞰）



- 高潮対策（新門司北地区）等、災害を未然に防止するための工事を行いました。
- 「北九州市地域防災計画」及び「北九州市強靱化地域計画」に基づいて、自然災害時の安全な通行の確保、安全に利用できる水域面積の確保を企図しています。

整備地区 新門司北地区

胸壁整備 102m

舗装工 103m²

陸閘整備 1基

道路整備（法面改修）

港が丘小学校



柄杓田小学校



- 水災害など発生時に、人工的傾斜面や自然斜面が崩壊・落石しないように、保護・強化・安定化を図るため、法面改修工事を行いました。

法面改修工事 530m²（港が丘小学校、柄杓田小学校）

令和6年度 サステナビリティボンドの資金使途について④

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
汚染の防止及び抑制	■ ごみ処理施設等の整備	■ 大気汚染物質の排出削減 ■ 水質汚染物質の排出削減

ごみ処理施設等の整備

新日明工場（完成写真）



- 大規模災害時に大量発生する災害廃棄物にも対応できるよう、焼却工場の安定操業に不可欠な設備で、損耗や経年劣化の激しいものについて、大規模な整備や更新により機能回復を図っています。「第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画」に基づき、リサイクル率の向上や温室効果ガス削減の取組の一環として整備を進めています。
- 令和7年3月に新日明工場の建設が完了し、令和7年4月より稼働を開始しました。発電能力が既設の3倍で3万6千世帯分の発電が可能、また地震と高潮を想定した設計で停電時でも処理が可能となりました。

整備施設	新日明工場
リサイクル率	30%以上（R7年度見込み）
CO2排出量	60千トン以下（R7年度見込み）

令和6年度 サステナビリティボンドの資金使途について⑤

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
グリーンビルディング	■ 環境性能の高い市有施設の新築・改修	■ 環境負荷の低減（温室効果ガス排出削減）
エネルギー効率	■ 公共施設のエネルギー消費量の削減（市保有施設の照明のLED化や老朽化施設やエネルギー多消費施設における省エネ機器の採用等）	■ 温室効果ガスの排出削減 ■ エネルギーの利用削減

環境性能の高い市有施設の新築・改修

門司港地域複合公共施設（完成イメージ）



- 市民センターのZEB化改修・門司港地域複合公共施設整備で脱炭素化を進めています。
- 松ヶ江北市民センターはNearly ZEB相当の整備を進めており、環境改善効果としてエネルギー消費削減率75%以上を見込みます。
- 門司港地域複合公共施設はZEB Ready相当の整備を進めており、環境改善効果としてエネルギー消費削減率50%以上を見込みます。

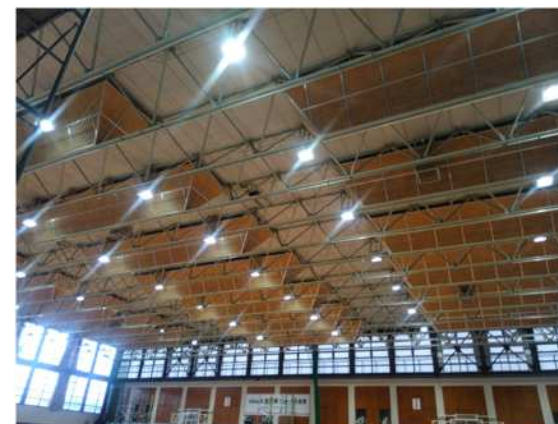
松ヶ江北市民センターの改修	Nearly ZEBを取得、 9.7t-CO2/年削減見込み
門司港地域複合公共施設整備	ZEB Readyを取得、 237.3t-CO2/年削減見込み

公共施設のエネルギー消費量の削減

LED照明の設置



LED化工事（小倉南体育館）



- 道路照明のLED化や小倉南体育館等の施設のLED化工事など、省エネ性能の高い設備に更新することにより電気使用量及びCO2排出量の削減を図りました。

LED化した照明灯数	99個
エネルギー削減量	395.1MWh
温室効果ガス削減量	158.8 t-CO2/年

令和6年度 サステナビリティボンドの資金使途について⑥

プロジェクト分類	対象事業	社会的な便益
必要不可欠なサービスへのアクセス	■ 特別支援学校整備 ■ 総合療育センター整備	■ 誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境を整備

特別支援学校整備

小倉北特別支援学校（完成イメージ）

※パースは変更の可能性あり



- 適切な教育環境の確保や狭あい化の解消等の課題解決を図るため、小倉北特別支援学校の移転建替工事を行っています。特別支援教育の充実に今後も注力してまいります。

令和4～5年度 実施設計

令和5～7年度 校舎等建築工事

令和7年度中 グラウンド整備工事、供用開始予定

整備事業

小倉北特別支援学校移転建替工事

利用者数

198人（児童生徒数、R7.5.1時点）

総合療育センター整備

医療機器等の更新



経皮血液ガスモニタリングシステム



多項目自動血球分析装置

- 総合療育センターは障害のある方の医療・療育（リハビリテーション）のための施設です。
- 老朽化した各種医療機器等を更新することで、より安心した医療を提供できるようになりました。
- 施設整備や医療機器等の整備により、利用者の増加や医療・福祉ニーズの多様化に対応できるよう機能強化を進めています。

総合療育センター

経皮血液ガスモニタリングシステム、
多項目自動血球分析装置など8台更新

令和6年度 サステナビリティボンドの資金使途について⑦

プロジェクト分類	対象事業	社会的な便益
必要不可欠なサービスへのアクセス	■ 保育所等整備 ■ 小中学校等整備	■ 誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境を整備

保育所等整備（保育所、児童館、児童養護施設）

みつばち保育園MOJIKO



徳力児童館



双葉学園（児童養護施設）



- 保育所の老朽改築に伴う施設整備を2箇所、児童館老朽化対策大規模改修工事を3箇所実施しました。
- また、児童養護施設双葉学園の改築工事を実施しました。

老朽改築に伴う施設整備 みつばち保育園MOJIKO（旧吉野保育所）、白銀保育所	対象施設：2箇所 定員数：190人
児童館老朽化対策大規模改修 徳力児童館、藤ノ木児童館、黒崎児童館	対象施設：3箇所 利用者数：31,612人 (R6年度)
児童養護施設の施設整備 双葉学園	対象施設：1箇所 定員数：37人

小中学校等整備

グラウンド改修工事（大里南小学校）



理科室改修工事（横代中学校）



学校トイレ整備（守恒小学校）



- 包括的で安全な学習環境を確保するため、学校施設の改修工事や整備を実施しました。

グラウンド改修	小学校1校
大規模改修	小学校4校、中学校1校
学校トイレ整備	小学校10校
不足教室対策	小学校4校、中学校2校
外壁改修	小学校4校
特別支援環境整備	小学校19校
学校施設緊急保全	中学校3校
利用者数	小学校：336人/1校、中学校：346人/1校 (市内の生徒数/学校数で算出、R 7. 5. 1時点)

令和6年度 サステナビリティボンドの資金使途について⑧

プロジェクト分類	対象事業	社会的な便益
必要不可欠なサービスへのアクセス	■ 青少年育成・学習施設等整備	■ 誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境を整備
手ごろな価格の基本的インフラ設備	■ 区役所の自家発電設備整備 ■ 避難場所、消防施設等の整備・改修 ※必要不可欠なサービスへのアクセスにも該当	■ 防災機能の強化等

青少年育成・学習施設等整備

八幡図書館



もじ少年自然の家



玄海青年の家



- 八幡図書館の空調設備改修を行い、環境整備を推進しました。
- 「玄海青年の家」、「もじ少年自然の家」の老朽化した箇所の改修工事を実施することにより、社会教育施設としての役割の強化を進めました。

八幡図書館（空調設備改修工事）	利用者数：133,978人 (R6年度)
もじ少年自然の家（受変電設備更新工事）	利用者数：17,184人 (R6年度)
玄海青年の家（高圧受変電設備改修工事）	利用者数：21,870人 (R6年度)

避難場所・消防施設等の整備・改修

空調設備整備（的場池体育館） 救急車の更新



- 予定避難所としての体育館において空調設備を整備しました。今後も一般の市民および災害等発生時の被災者を対象とする基本的インフラ整備を推進してまいります。
- 円滑な災害対応力を維持するため、救急車の更新や老朽化した消防施設の改修工事を実施しました。

体育館（予定避難所）の空調設備の整備（調査・整備） 小倉北体育館、小倉南体育館、的場池体育館等	6件
予定避難所の想定受入人数	小倉北体育館：406人 小倉南体育館：397人 的場池体育館：453人
救急車の整備	6件
消防施設の長寿命化	10件
消防団施設整備	小倉北消防団第7分団 本部移転新築工事



本資料に関するお問い合わせ先

北九州市財政・変革局財務部財政課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

TEL : 093-582-2003

FAX : 093-582-2070

E-mail : zai-zaisei@city.kitakyushu.lg.jp
